

## 第2期末（2025年3月10日）

基準価額	10,305円
純資産総額	217億円
騰落率	1.0%
分配金	0円

# ニッセイ／シュローダー<sup>好利回りCBファンド</sup>

2023-02

(為替ヘッジあり・限定追加型)

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年3月12日～2025年3月10日

第2期（決算日 2025年3月10日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュローダー好利回りCBファンド2023-02（為替ヘッジあり・限定追加型）」は、このたび第2期の決算を行いました。

当ファンドは、「シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2024年3月12日～2025年3月10日

## 基準価額等の推移



第2期首	10,207円	既払分配金	0円
第2期末	10,305円	騰落率(分配金再投資ベース)	1.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

### 基準価額の主な変動要因

#### ＜上昇要因＞

- 2024年10月上旬から11月下旬にかけて、米連邦準備制度理事会（F R B）による0.5%の利下げや米大統領選でのトランプ氏の勝利を受けて世界株式市場が上昇し、C B市場も追随したこと
- 2025年1月初旬以降、トランプ氏の米大統領就任を好感して世界株式市場が上昇基調で推移し、C B市場も追随したこと

#### ＜下落要因＞

- 7月下旬から9月下旬にかけて、ハイテク株を中心とした株式市場の調整や、日銀の追加利上げに伴う米ドル安円高の進行に加え、米雇用統計などの経済指標の悪化を受けた米景気後退懸念等を背景に世界株式市場が下落し、C B市場も下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	65円	0.631%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,279円です。
(投信会社)	(28)	(0.274)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(34)	(0.329)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	65	0.633	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

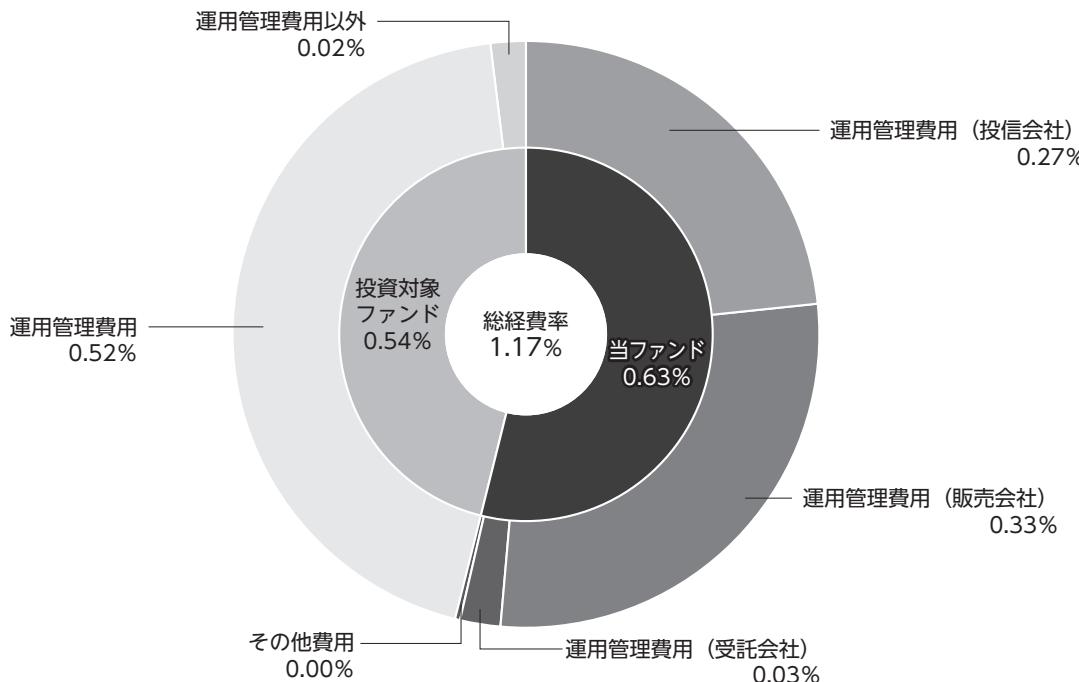
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

## (参考情報)

## ■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## グローバルCB市況

グローバルCB市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初より米国の利下げ期待が継続し、株式市場は上昇しました。2024年4月には低調なマクロ経済データを受け、一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。7月に入るとF R Bによる利下げから米景気がソフトランディング（軟着陸）に向かうとの期待感が高まつたことから上昇しましたが、7月末にはハイテク株を中心に株式市場が調整しました。その後、日銀の追加利上げ決定を受けて急速に米ドル安円高が進行したことや、米雇用統計などの経済指標の悪化によって、米景気後退懸念が広がったことなどを背景に一時的に急落したものの、インフレの鈍化、米国の利下げ期待からおおむね堅調な動きとなりました。また、9月初旬には米I T（情報技術）企業を中心に下落局面は見られたものの、F R Bによる0.5%の利下げが市場参加者に好感され、株式市場は再び堅調な推移となり、CB市場も上昇しました。11月には米大統領選でトランプ氏の勝利が好感され上昇が続きました。12月には翌年以降もインフレが続くとの懸念から下落しました。2025年に入ると中国企業による生成人工知能（A I）の発表などを背景に下落する場面もありましたが、トランプ大統領が就任すると上昇に転じました。2月以降は強気な移民政策や追加関税を背景に再び下落しましたが、期を通じては上昇となりました。同期間におけるCB市場は、一般消費財・サービス、インフォメーション・テクノロジーセクターが堅調な動きとなり、上昇しました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

「シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）

\*シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

#### ＜業種配分＞

当期末時点では、組入比率の高い順に不動産（14.4%）、金融（12.7%）、一般消費財・サービス（10.8%）としています。

#### ＜国・地域別配分＞

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（66.1%）、ドイツ（12.7%）、イギリス（10.0%）としています。

## ＜通貨別配分＞

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（56.0%）、ユーロ（24.2%）、イギリス・ポンド（16.1%）としています。

（注1）業種配分、通貨別配分の比率は対組入債券評価額比、国・地域別配分の比率は対純資産総額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICS レベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年3月12日～2025年3月10日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	320円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■当ファンド

今後も、「シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）

トランプ米政権の政策によりグローバル経済は先行き不透明な状態が続いており、今後も市場は波乱含みの展開となる可能性があります。また、低金利政策のもとで労働市場の弱体化や消費支出の急激な減少、想定を超える景気の悪化が同時に起こった場合、株式市場にも悪影響が波及する可能性があります。

当ファンドは、原則としてファンドの信託期間内に償還日を迎えるCBに投資し、償還日まで保有することを基本としています。発行体の信用リスク、流動性などを勘案し、相対的に利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資を継続する方針です。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第2期末 2025年3月10日
シュローダー先進国 好利回りCBファンド2023-02 (適格機関投資家専用)	99.6%
ニッセイマネーマーケット マザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

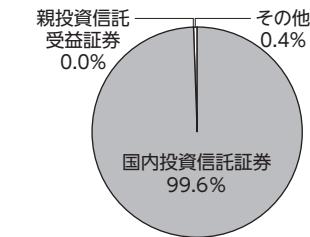
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

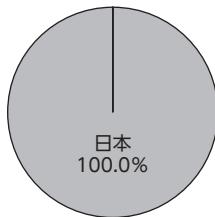
項目	第2期末 2025年3月10日
純資産総額	21,759,187,578円
受益権総口数	21,115,846,206口
1万口当たり基準価額	10,305円

(注) 当期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,606,055,342円です。

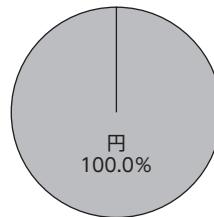
### 資産別配分



### 国別配分



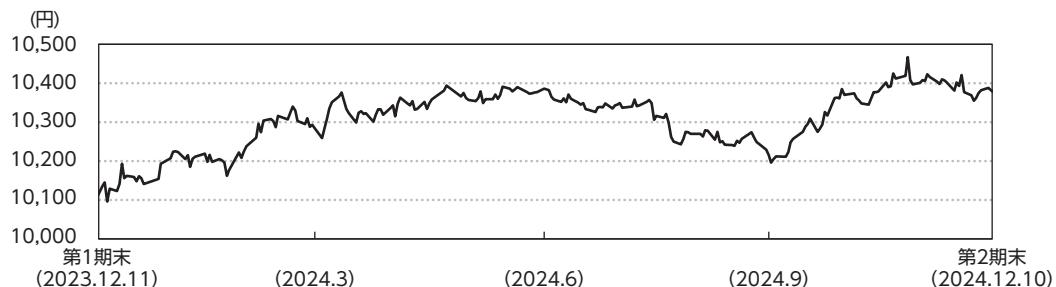
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年3月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02 (適格機関投資家専用) の概要

## ■税引前分配金再投資基準価額の推移



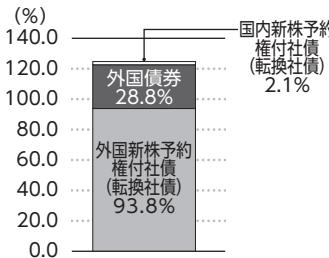
## ■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
US 2.75% 15/02/28	米ドル	28.8%
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	ユーロ	5.7
CAPITAL&COUNTIES 2% CB	イギリス・ポンド	4.9
OCADO GROUP PLC 0.75%	イギリス・ポンド	4.5
IWG GROUP HOLD 0.5% CB	イギリス・ポンド	4.5
DERWENT LONDON 1.5% CB	イギリス・ポンド	4.2
AMS-OSRAM AG 0% CB	ユーロ	3.5
AMS-OSRAM AG 2.125% CB	ユーロ	3.0
DELIVERY HERO 1.0% CB	ユーロ	2.5
LEG IMMOBILIEN 0.875% CB	ユーロ	2.4
組入銘柄数		59

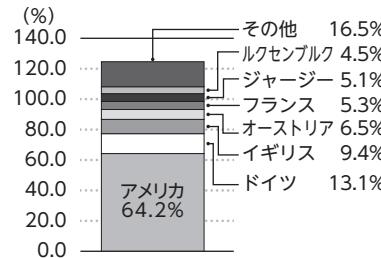
## ■1万口当たりの費用明細

2023.12.12～2024.12.10	
項目	金額
信託報酬	54円
(投信会社)	(51)
(販売会社)	( 0)
(受託会社)	( 3)
その他費用	2
(保管費用)	( 1)
(監査費用)	( 1)
(印刷費用)	( 0)
(その他)	( 0)
合計	56

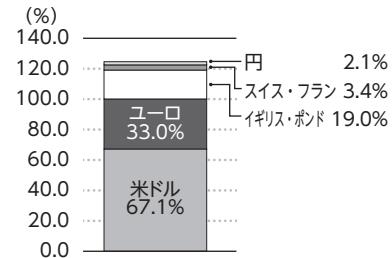
## ■資産別配分



## ■国別配分



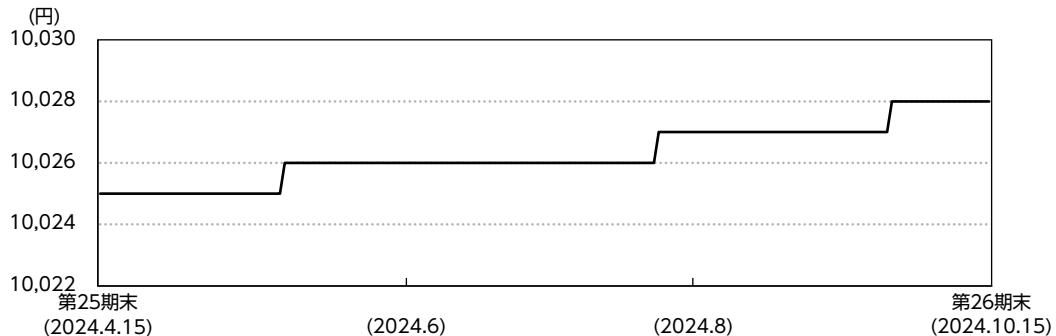
## ■通貨別配分



- (注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。
- (注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものです。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- (注3) 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、投資信託証券決算日（2024年12月10日現在）のものであり、比率は投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■基準価額の推移



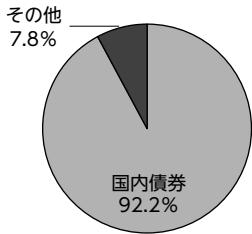
### ■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
平成26年度第1回 滋賀県公募公債	円	14.6%
令和元年度第8回 神戸市公募公債（5年）	円	14.5
第146回 共同発行市場公募地方債	円	12.8
第213回 神奈川県公募公債	円	12.7
令和元年度第1回 鹿児島県公募公債（5年）	円	12.7
第69回 政保地方公共団体金融機構債券	円	6.4
第147回 共同発行市場公募地方債	円	6.3
第748回 東京都公募公債	円	6.3
第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	5.7
組入銘柄数		9

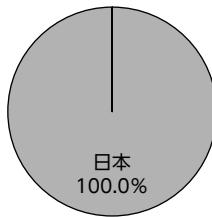
### ■1万口当たりの費用明細

当期（2024年4月16日～2024年10月15日）における費用はありません。

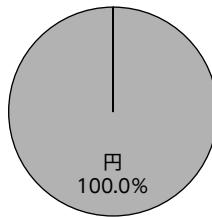
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー先進国 好利回りCB ファンド2023-02 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2023年2月27日	円 10,000	円 —	% —	円 10,000	% —	% —	百万円 15,124
1期(2024年3月11日)	10,207	0	2.1	10,207	99.7	0.0	24,213
2期(2025年3月10日)	10,305	0	1.0	10,305	99.6	0.0	21,759

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュローダー先進国 好利回りCB ファンド2023-02 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率
(期首)2024年3月11日	円 10,207	% —	% 99.7	% 0.0
3月末	10,268	0.6	99.7	0.0
4月末	10,319	1.1	99.7	0.0
5月末	10,320	1.1	99.9	0.0
6月末	10,260	0.5	100.0	0.0
7月末	10,221	0.1	99.8	0.0
8月末	10,175	△0.3	99.9	0.0
9月末	10,187	△0.2	99.5	0.0
10月末	10,330	1.2	99.7	0.0
11月末	10,277	0.7	99.8	0.0
12月末	10,323	1.1	99.8	0.0
2025年1月末	10,375	1.6	99.8	0.0
2月末	10,318	1.1	99.9	0.0
(期末)2025年3月10日	10,305	1.0	99.6	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2024年3月12日～2025年3月10日

### （1）投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
千円	千円	千円	千円	千円
シユローダー先進国好利回りC B ファンド 2023-02 (適格機関投資家専用)	—	—	2,720,248	2,810,940

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口	千円	千口	千円

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2024年3月12日～2025年3月10日

当期における利害関係との取引はありません。

### 組入有価証券明細表

2025年3月10日現在

### （1）投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	比率
シユローダー先進国好利回りCBファンド 2023-02 (適格機関投資家専用)	千口 23,521,836	千口 20,801,587	千円 21,681,495	% 99.6
合計	23,521,836	20,801,587	21,681,495	99.6

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) □数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託殘高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットザーファンド全体の口数は1,952,831手口です。

## 投資信託財産の構成

2025年3月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
シュローダー先進国好利回りCBファンド 2023-02 (適格機関投資家専用)	21,681,495	99.2
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	183,652	0.8
投資信託財産総額	21,865,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年3月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	21,865,157,289円
コール・ローン等	183,652,190
シュローダー先進国好利回りCBファンド 2023-02 (適格機関投資家専用) (評価額)	21,681,495,087
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,012
(B) 負債	105,969,711
未払解約金	34,732,517
未払信託報酬	70,972,035
その他未払費用	265,159
(C) 純資産総額(A-B)	21,759,187,578
元本	21,115,846,206
次期繰越損益金	643,341,372
(D) 受益権総口数	21,115,846,206口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,305円

(注) 期首元本額 23,721,901,548円  
 期中追加設定元本額 -円  
 期中一部解約元本額 2,606,055,342円

## 損益の状況

当期 (2024年3月12日～2025年3月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	179,260円
受取利息	179,528
支払利息	△ 268
(B) 有価証券売買損益	344,115,600
売買益	362,503,598
売買損	△ 18,387,998
(C) 信託報酬等	△ 146,928,798
(D) 当期損益金(A+B+C)	197,366,062
(E) 前期繰越損益金	480,423,048
(分配準備積立金)	( 480,569,280)
(繰越欠損金)	(△ 146,232)
(F) 追加信託差損益金*	△ 34,447,738
(配当等相当額)	(△ 696)
(売買損益相当額)	(△ 34,447,042)
(G) 合計(D+E+F)	643,341,372
次期繰越損益金(G)	643,341,372
追加信託差損益金	△ 34,447,738
(配当等相当額)	(△ 696)
(売買損益相当額)	(△ 34,447,042)
分配準備積立金	677,789,110

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定した価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	105,796円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	197,114,034円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	480,569,280円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	677,789,110円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	320.99円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信 託 期 間	2023年2月27日～2028年3月10日
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
ニッセイ／シュローダー好利回りCBファンド 2023-02 (為替ヘッジあり・ 限 定 追 加 型 )	「シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
主要運用対象	<p>シュローダー先進国 好利回りCBファンド 2023-02 (適格機関投資家専用)</p> <p>ニッセイマネーマーケット マザーファンド</p>
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2023年2月28日から2028年3月9日まで
運用方針	信託財産の成長とインカム収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国（IMF（国際通貨基金）が定義する先進国・地域の全部または一部、その他運用委託先がこれに準ずると判断する国・地域）の転換社債を主な投資対象とします。先進国国債や残存期間の短い債券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年12月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

# シユローダー先進国好利回り C B ファンド2023-02 (適格機関投資家専用)

## 第2期 運用報告書(全体版)

(決算日 2024年12月10日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。さて、「シユローダー先進国好利回りC B ファンド2023-02（適格機関投資家専用）」は、2024年12月10日に第2期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シユローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館21階

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

**Schroders**  
シユローダー・インベストメント・マネジメント

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配	期騰落率	新株予約権付社債 (転換社債)組入比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
(設定日) 2023年2月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 14,897
1期(2023年12月11日)	10,112	0	1.1	93.1	15.9	—	24,521
2期(2024年12月10日)	10,378	0	2.6	95.8	28.8	—	22,541

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	新株予約権付社債 (転換社債)組入比率	債券組入比率	債券先物比率
	騰落率	%	%	%
(期首) 2023年12月11日	円 10,112	% —	% 93.1	% 15.9
12月末	10,141	0.3	91.2	16.5
2024年1月末	10,196	0.8	98.7	17.1
2月末	10,330	2.2	98.1	18.7
3月末	10,323	2.1	96.0	21.4
4月末	10,381	2.7	99.1	21.9
5月末	10,387	2.7	97.9	25.0
6月末	10,332	2.2	95.5	28.8
7月末	10,299	1.8	93.2	29.3
8月末	10,257	1.4	89.9	28.4
9月末	10,275	1.6	91.9	24.8
10月末	10,425	3.1	96.7	28.9
11月末	10,377	2.6	94.8	28.9
(期末) 2024年12月10日	10,378	2.6	95.8	28.8

(注) 基準価額は1万口当たり。

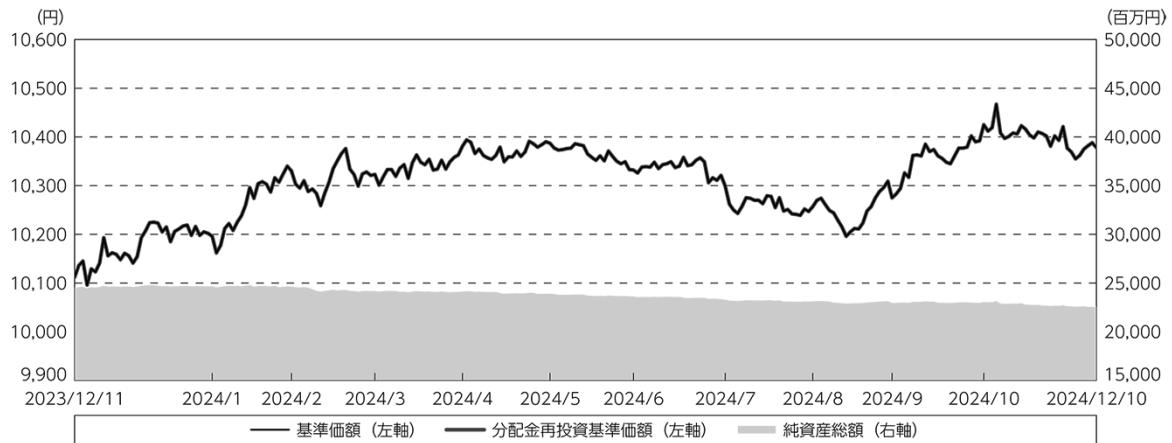
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## ○運用経過

(2023年12月12日～2024年12月10日)

## 期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年12月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記謄落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

期首10,112円でスタートした基準価額は、10,378円（分配後）で期末を迎え、期首比2.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、C B市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、株式市場に対する追随力をやや欠いた局面も見られましたが、概ね株式市場に追随して上昇しました。また下落局面においては、C B市場は概ね株式市場に対する下値抵抗力を発揮し、期を通して堅調な動きとなりました。

## 投資環境

2023年11月に米国および英国の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まつたことなどを背景に上昇し、当期初も継続して上昇しました。2024年1月に入ると早期の利下げ観測が後退し、一時的に下落しましたが、引き続き堅調な推移となりました。4月には低調なマクロ経済データを受け、一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。7月に入ると米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げから米国景気がソフトランディング（軟着陸）に向かうとの期待が高まつたことから上昇しましたが、7月末にはハイテク株を中心に株式市場が調整しました。その後、日本銀行が追加利上げを決定した後、急速に円高・米ドル安が進行したことや、米国雇用統計などの経済指標の悪化が見られ、米国景気後退懸念が広がつたことなどを背景に一時的に急落したものの、インフレの鈍化、米国の利下げ期待から概ね堅調となりました。また9月初めには米国のI T企業を中心に下落局面は見られたものの、F R Bによる0.5%の利下げが市場参加者に好感され、株式市場は再び堅調な推移となり、C B市場も上昇しました。11月には米国大統領選挙でトランプ氏が圧勝したことが好感され、継続して上昇し、期を通しては上昇となりました。同期間におけるC B市場は、インフォメーション・テクノロジー、資本財・サービス、金融セクターが堅調な動きとなり、上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いC Bへの投資および満期保有を基本戦略としつつ、C B市場の非効率性を捉え、割安な銘柄に対する投資を実施しました。セクター別では、不動産セクターの組入比率を最も高位とっています。国別では、米国を最も高位とし、続いて英国、ドイツを高位としています。また、格付け別ではB B格、B B B格のC Bを中心に保有しています。

（格付はS & P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

2024年11月29日現在

## 国別組入比率

	国名	比率*
1	USA	51.7%
2	UNITED KINGDOM	11.6%
3	GERMANY	9.5%
4	AUSTRIA	5.2%
5	FRANCE	4.3%
6	LUXEMBOURG	3.6%
7	KOREA	3.0%
8	SWITZERLAND	2.7%
9	ITALY	1.8%
10	JAPAN	1.6%
	Others	5.1%
	合計	100.0%

\*キャッシュ等除く

## 業種別組入比率

	セクター名**	比率*
1	Real Estate	15.7%
2	Information Technology	14.2%
3	Financials	13.6%
4	Consumer Discretionary	8.1%
5	Industrials	7.1%
6	Communication Services	6.9%
7	Consumer Staples	6.6%
8	Utilities	2.6%
9	Health Care	0.9%
10	Materials	0.8%
11	Energy	0.0%
	Others	23.4%
	合計	100.0%

\*キャッシュ等除く

\*\*業種は組入資産のGICS (世界産業分類基準)に基づいて記載。Othersの中に米国国債が含まれています。

## 格付別組入比率

格付	比率*
AAA	23.4%
AA	0.0%
A	4.9%
BBB	24.7%
BB	27.5%
B	19.5%
CCC以下	0.0%
格付けなし	0.0%
合計	100.0%

\*キャッシュ等除く

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期	
	2023年12月12日～ 2024年12月10日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	408	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

グローバルの株式市場は、景気が過熱も冷え込みもしない適度な、ゴルディロックス相場が継続すると予想しています。インフレ率は大幅に低下し、国際的に紛争が続いている中、エネルギー価格は低下し続け、米国の労働市場は弱さの兆候を示しています。2024年9月の0.5%という利下げ幅は、F R Bが遅れて行動する傾向にあること、経済の減速が以前よりも早いこと、そしてパニック的要素が大規模利下げを促したことを見ています。通常、利下げは、特に景気後退懸念を背景に行われる場合には、株式市場にとって良い兆候ではありません。したがって、利下げ、脆弱な労働市場、消費支出の急減、予想を上回る硬着地という組み合わせは、株式市場にとって不利となります。グローバルの経済が長期的に持続可能でないとの見方に変わりはありませんが、景気後退、もしくはセクターや地域の急激なローテーションが生じた場合、株式投資家は大幅なマイナスの影響を受ける可能性があります。このような環境下、企業に流動性を提供する資産としてCB市場が注目されます。企業は伝統的な社債市場で流動性を確保できない場合、CBを発行し、相対的に低いコストで資金を調達することができ、発行されたCBは魅力的なクーポン、安価な株式オプションを提供します。CBは低流動性の環境下でも常に開かれた市場といえますが、最近ハイ・イールド社債の借換えは停滞の兆候が見られており、今後CBの新発市場は活況となると考えます。CBは株式オプションが組み込まれており、CBは原資産となる株価が上昇するにつれて価値が上昇します。同時に、原資産の株価が下落した場合、CBのボンド・フロアという債券的特性が下値抵抗力を提供します。投資ユニバースにある銘柄の大部分はバランス型、もしくはややディフェンシブ型であることから、株式市場下落時における十分なプロテクションが組み込まれていると考えます。2024年夏季の株式下落時にはCBの下値抵抗力が確認され、将来の後退時にも同様に防御性を発揮すると確信しています。今後もグローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続します。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年12月12日～2024年12月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 54	% 0.521	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(51)	(0.494)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	( 0 )	(0.001)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	( 3 )	(0.026)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	2	0.021	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 1 )	(0.007)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1 )	(0.009)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	( 0 )	(0.001)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	( 0 )	(0.004)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI:Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	56	0.542	
期中の平均基準価額は、10,310円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年12月12日～2024年12月10日)

## 新株予約権付社債（転換社債）

		買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
外 国	アメリカ	千米ドル 16,700	千米ドル 15,312	千米ドル 4,800 (24,900)	千米ドル 3,723 (24,900)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	1,500	1,408	2,300	2,086
	イタリア	—	—	500	435
	フランス	2,532	2,290	— ( 5,158)	— ( 5,158)
	オランダ	1,000	929	—	—
	オーストリア	—	—	600	479
	アイルランド	—	—	700	773
	その他	—	—	— ( 1,300)	— ( 1,300)
	スイス	千スイスフラン —	千スイスフラン —	千スイスフラン 1,500	千スイスフラン 1,443
オーストラリア		千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル — ( 6,100)	千オーストラリアドル — ( 6,100)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 21,602	千米ドル 6,581

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年12月12日～2024年12月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年12月10日現在)

## 国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面	金額	当期末	
			千円	評価額
MERCARI INC 0%	26/07/14	300,000		292,497
PARK24 0%	25/10/29	180,000		171,001
合計	銘柄数	比率	480,000	463,499
			2	<2.1%>

(注) 評価額欄の&lt;&gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

## 外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面	金額	当期末	
			評価額	額
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)			千米ドル	千円
TELADOC HEALTH INC 1.25%		2,000	1,758	266,407
LYFT INC 1.5% CB		1,000	990	150,024
CHEGG INC CONV 0% CB		1,500	1,233	186,964
SEA LTD 0.25% CB		3,000	2,719	412,113
RINGCENTRAL INC 0% CB		3,000	2,787	422,341
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB		2,250	2,362	358,013
ALARM.COM HLD 0% CB		750	707	107,233
NEXTERA ENERGY 0% CB		3,500	3,297	499,759
SUNRUN INC 0% CB		1,000	923	139,947
EXPEDIA GROUP INC 0% CB		2,200	2,194	332,554
SPOTIFY USA INC 0% CB		1,750	1,922	291,408
AIRBNB INC 0% CB		2,450	2,298	348,254
CABLE ONE INC 0% CB		3,000	2,778	420,978
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB		2,000	1,865	282,674
BLACKSTONE MTG 5.5% CB		2,000	1,945	294,757
SNAP INC 0% CB		3,000	2,594	393,238
TRIPADVISOR 0.25% CB		1,000	938	142,251
DIGITALOCEAN 0% CB		2,000	1,786	270,650
FASTLY INC 0% CB		1,000	935	141,689
PENNIMAC 5.5% CB		1,500	1,477	223,875
NCL CORP 2.5% CB		2,000	2,124	321,984
BILL HOLDINGS 0% CB		1,500	1,344	203,726

シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02 (適格機関投資家専用)

銘柄		当期末		
		額面金額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
CONFLUENT 0% CB		750	677	102,630
NEW MOUNTAIN FIN 7.5%CB		2,900	2,935	444,832
AFFIRM HOLDINGS 0% CB		2,500	2,257	342,139
EURONET WORLD 0.75% CB		2,000	1,984	300,655
PROSPECT CAP 6.375% CB		2,500	2,487	376,954
SHOPIFY INC 0.125% CB		1,600	1,662	251,920
REPAY HOLDINGS 0% CB		3,000	2,800	424,387
PEGASYSTEMS INC 0.75% CB		1,250	1,241	188,099
小計	額面・金額	59,900	57,030	8,642,468
	銘柄数 <比率>	30	—	<38.3%>
(ユーロ・・・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
DUERR AG 0.75% CB		1,500	1,489	238,219
LEG IMMOBILIEN 0.875%CB		3,400	3,345	534,936
HELLOFRESH SE 0.75% CB		2,000	1,976	316,133
DELIVERY HERO 1.5% CB		2,000	1,784	285,314
ZALANDO SE 0.625% CB		2,000	1,849	295,819
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB		8,400	7,989	1,277,607
小計	額面・金額	19,300	18,435	2,948,030
	銘柄数 <比率>	6	—	<13.1%>
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
NEXI SPA CONV 0% CB		3,500	3,088	493,918
小計	額面・金額	3,500	3,088	493,918
	銘柄数 <比率>	1	—	<2.2%>
(ユーロ・・・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円
UBISOFT 2.375% CB		2,000	1,881	300,916
NEOEN SA 2.875% CB		1,500	1,517	242,623
Nexity SA 0.25% CB		689	682	109,138
WORLDLINE FRANCE 0% CB		2,641	2,464	394,018
SELENA CONV REGS 0% CB		1,000	989	158,151
小計	額面・金額	7,831	7,534	1,204,848
	銘柄数 <比率>	5	—	<5.3%>
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
SHOP APOTHEKE EUR 0% CB		2,000	2,019	322,988
小計	額面・金額	2,000	2,019	322,988
	銘柄数 <比率>	1	—	<1.4%>

シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02 (適格機関投資家専用)

銘柄		当期末		
		額面金額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・ベルギー)	UMICORE SA CONV 0% CB	千ユーロ 1,500	千ユーロ 1,474	千円 235,820
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	1,500 1	1,474 —	235,820 <1.0%>
(ユーロ・・・オーストリア)	AMS-OSRAM AG 2.125% CB AMS-OSRAM AG 0% CB	千ユーロ 5,500 5,000	千ユーロ 4,246 4,912	千円 678,977 785,557
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	10,500 2	9,158 —	1,464,535 <6.5%>
(ユーロ・・・アイルランド)	GLANBIA CO 1.875% CB	千ユーロ 1,300	千ユーロ 1,309	千円 209,451
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	1,300 1	1,309 —	209,451 <0.9%>
(ユーロ・・・その他)	DELIVERY HERO 1.0% CB	千ユーロ 3,700	千ユーロ 3,549	千円 567,587
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	3,700 1	3,549 —	567,587 <2.5%>
ユーロ計	額面・金額 銘柄数 <比率>	49,631 18	46,571 —	7,447,182 <33.0%>
(イギリス)	CAPITAL&COUNTIES 2% CB PHP FINANCE 2.875% CB DERWENT LONDON 1.5% CB OCADO GROUP PLC 0.75% IWG GROUP HOLD 0.5% CB	千英ポンド 6,000 1,000 5,000 6,200 5,500	千英ポンド 5,736 985 4,915 5,269 5,231	千円 1,108,443 190,503 949,695 1,018,119 1,010,818
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	23,700 5	22,139 —	4,277,581 <19.0%>
(スイス)	DUFRY ONE 0.75% CB SWISS PRIME 0.325% CB CEMBRA MONEY BANK 0% CB	千スイスフラン 2,000 1,500 1,000	千スイスフラン 1,970 1,501 982	千円 339,641 258,789 169,417
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	4,500 3	4,453 —	767,848 <3.4%>
合計	額面・金額 銘柄数 <比率>	— 56	— —	21,135,080 <93.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当期末						
		評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 44,550	千米ドル 42,785	千円 6,483,699	% 28.8	% —	% —	28.8	% —
合計	44,550	42,785	6,483,699	28.8	—	—	28.8	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	額面金額	当期末			償還年月日	
			評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US 2.75% 15/02/28	2.75	44,550	42,785	6,483,699	2028/2/15	
合計					6,483,699		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年12月10日現在)

項目	評価額	当期末	
		千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	21,598,580		73.7
公社債	6,483,699		22.1
コール・ローン等、その他	1,214,577		4.2
投資信託財産総額	29,296,856		100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (27,778,477千円) の投資信託財産総額 (29,296,856千円) に対する比率は94.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=151.54円、1ユーロ=159.91円、1英ポンド=193.21円、1スイスフラン=172.40円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年12月10日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	79,654,249,125
コレ・ローン等	87,666,988
公社債（評価額）	28,082,279,845
未収入金	45,629,635,366
未収利息	109,071,087
前払費用	3,775,547
差入委託証拠金	5,741,820,292
(B) 負債	57,112,263,757
未払金	51,309,102,640
未払信託報酬	60,136,941
差入委託証拠金代用有価証券	5,741,820,292
その他未払費用	1,203,884
(C) 純資産総額（A-B）	22,541,985,368
元本	21,720,647,038
次期繰越損益金	821,338,330
(D) 受益権総口数	21,720,647,038口
1万口当たり基準価額（C/D）	10,378円

## [元本増減]

期首元本額	24,250,019,049円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	2,529,372,011円
(注) 2024年12月10日現在、先物取引などに係る差入委託証拠金代用有価証券として担保に供している資産は以下の通りです。	
・国債証券	5,514,390,235円

(注) 当ファンドの運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに有価証券等の運用の指図に関する権限を委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

## ○損益の状況（2023年12月12日～2024年12月10日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	405,787,730
受取利息	400,928,063
その他収益金	4,875,330
支払利息	△ 15,663
(B) 有価証券売買損益	297,844,819
売買益	3,802,522,575
売買損	△ 3,504,677,756
(C) 信託報酬等	△ 128,755,215
(D) 当期損益金（A+B+C）	574,877,334
(E) 前期繰越損益金	311,465,343
(F) 追加信託差損益金	△ 65,004,347
(配当等相当額)	( 1,549,744)
(売買損益相当額)	(△ 66,554,091)
(G) 計（D+E+F）	821,338,330
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G+H）	821,338,330
追加信託差損益金	△ 65,004,347
(配当等相当額)	( 1,549,744)
(売買損益相当額)	(△ 66,554,091)
分配準備積立金	886,342,677

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（331,534,598円）、費用控除後の有価証券等損益額（243,342,736円）、信託約款に規定する収益調整金（1,549,744円）および分配準備積立金（311,465,343円）より分配対象収益は887,892,421円（10,000口当たり408円）ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

【受益者の皆様へ】 法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 26 期

(計算期間：2024年4月16日～2024年10月15日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



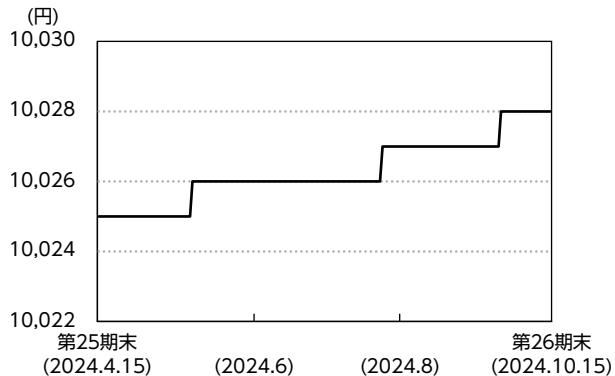
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2024年4月16日～2024年10月15日

## 基準価額額等の推移



### 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

## ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

# 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額			
				円	%	%	百万円
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4				50
23期 (2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9				706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1				720
25期 (2024年4月15日)	10,025	0.0	83.1				1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2				1,375

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率		
			円	%	%
(期首)2024年4月15日	10,025	—			83.1
4月末	10,025	0.0			83.3
5月末	10,026	0.0			83.5
6月末	10,026	0.0			85.3
7月末	10,026	0.0			86.0
8月末	10,027	0.0			85.8
9月末	10,028	0.0			86.1
(期末)2024年10月15日	10,028	0.0			92.2

(注) 謄落率は期首比です。

# ニッセイマネーマーケットマザーファンド

## 1万口当たりの費用明細

2024年4月16日～2024年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,026円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2024年4月16日～2024年10月15日

### 公社債

国内	地方債証券	買付額	売付額
		千円	千円
	地方債証券	349,940	(156,000)
	特殊債券	—	( 82,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2024年4月16日～2024年10月15日

### 公社債

銘柄	買付	千円	銘柄	売付
	金額			金額
第146回 共同発行市場公募地方債	175,623	—	—	—
第147回 共同発行市場公募地方債	87,200	—	—	—
第748回 東京都公募公債	87,117	—	—	—

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2024年10月15日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
千円	千円	%	%	%	%	%	%
	1,099,000 (1,099,000)	1,100,147 (1,100,147)	80.0 (80.0)	—	—	—	80.0 (80.0)
<b>地方債証券</b>							
<b>特殊債券 (除く金融債券)</b>	167,000 (167,000)	167,152 (167,152)	12.2 (12.2)	—	—	—	12.2 (12.2)
<b>合計</b>	1,266,000 (1,266,000)	1,267,299 (1,267,299)	92.2 (92.2)	—	—	—	92.2 (92.2)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%	千円	千円	
<b>地方債証券</b>	第748回 東京都公募公債	0.4560	2025/9/19	87,000	87,112
	第213回 神奈川県公募公債	0.5340	2025/3/19	175,000	175,319
	第146回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/5/23	175,000	175,406
	第147回 共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/6/25	87,000	87,186
	平成26年度第1回 滋賀県公募公債	0.4950	2024/11/28	200,000	200,121
	令和元年度第8回 神戸市公募公債(5年)	0.0010	2024/10/25	200,000	200,000
	令和元年度第1回 鹿児島県公募公債(5年)	0.0010	2024/10/31	175,000	175,000
	小計	—	—	—	1,100,147
<b>特殊債券 (除く金融債券)</b>	第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.4950	2024/11/29	79,000	79,047
	第69回 政保地方公共団体金融機関債券	0.4140	2025/2/17	88,000	88,104
	小計	—	—	—	167,152
	合計	—	—	—	1,267,299

## 投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,267,299	92.1
コール・ローン等、その他	109,288	7.9
<b>投資信託財産総額</b>	<b>1,376,587</b>	<b>100.0</b>

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

# ニッセイマネーマーケットマザーファンド

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

項目		(2024年10月15日現在)
当期末		
(A)資	産	1,376,587,399円
コ ー ル · ポ ー ン 等		108,477,511
公 社 債(評価額)		1,267,299,290
未 収 利 息		721,187
前 払 費 用		89,411
(B)負	債	1,427,770
未 払 解 約 金		1,427,770
(C)純 資 産 総 額(A - B)		1,375,159,629
元 本		1,371,321,507
次 期 繰 越 損 益 金		3,838,122
(D)受 益 権 総 口 数		1,371,321,507口
1万口当たり基準価額(C / D)		10,028円

(注1) 期首元本額 1,388,192,825円  
 期中追加設定元本額 143,291,136円  
 期中一部解約元本額 160,162,454円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式ファンド(毎月決算型) 10,000円  
 ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定) 49,936,464円  
 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 9,994円  
 ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型) 9,984円  
 ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型) 9,984円  
 ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) 9,984円  
 ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型) 9,984円  
 J P X日経400アクティイ・オーブン米ドル投資型 9,976円  
 J P X日経400アクティイ・プレミア・オーブン(毎月決算型) 9,976円  
 ニッセイ・オーストラリア・リート・オーブン(毎月決算型) 9,974円  
 ニッセイ・オーストラリア・リート・オーブン(年2回決算型) 9,974円  
 ニッセイ/MFS外国株低ボラティティ運用ファンド 9,967円  
 ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり) 9,967円  
 ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし) 9,967円  
 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型) 9,968円  
 D Cニッセイセイターゲットデートファンド 2 0 2 5 1,320,986,105円  
 ニッセイ/コムジェスト・新興国成長株ファンド(資産成長型) 9,969円  
 ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド(年2回決算型) 9,969円  
 ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,969円  
 ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,969円  
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヶ月決算型・為替ヘッジあり) 9,969円  
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヶ月決算型・為替ヘッジなし) 9,969円  
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり) 9,969円  
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし) 9,969円  
 ニッセイ/ショウダーハーブ/グローバルBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,970円  
 ニッセイ/ショウダーハーブ/グローバルBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,970円  
 ニッセイ/ショウダーハーブ/グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり) 9,970円  
 ニッセイ/ショウダーハーブ/グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし) 9,970円  
 グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型) 9,972円  
 グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型) 9,972円  
 ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型) 9,972円  
 ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型) 9,972円  
 限定期型(機上償還条件付ニッセイ世界リカリーフ式戦略ファンド(為替ヘッジあり)) 9,973円  
 ニッセイ/ショウダーハーブ/リカリーフBファンド 2023-3-02 (為替ヘッジあり・既定追加型) 9,974円  
 既定追加型(機上償還条件付ニッセイ世界リカリーフ式戦略ファンド 2023-07(為替ヘッジあり)) 9,975円  
 既定追加型(機上償還条件付ニッセイ世界リカリーフ式戦略ファンド 2023-07(為替ヘッジなし)) 9,975円  
 ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型) 9,975円  
 ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型) 9,975円  
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり) 9,968円  
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし) 9,968円  
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,968円  
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,968円

## 損益の状況

当期 (2024年4月16日～2024年10月15日)	
項目	当期
(A)配 当 等 収 益	2,180,665円
受 取 利 息	2,180,665
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,789,977
売 買	△ 1,789,977
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	390,688
(D)前 期 繰 越 損 益 金	3,489,065
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	377,348
(F)解 約 差 損 益 金	△ 418,979
(G)合 計 (C + D + E + F)	3,838,122
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,838,122

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。